

時習 三月 最終号

三月 二十四日

「有り難し」

〜奇跡に感謝〜

考えてみれば、私たちの身の回りは奇跡に満ち溢れています。生まれてきたことも、生きていることも、出会いも、この学年、クラスであつたことも、何もかもすべて奇跡です。

どんなにありがたうと言っても、決して及ぶことはないでしょう。

平成二十二年度も、いよいよ大詰めです。この一年間を無事に過ごし、成長できたことに、感謝するしかありません。

みなさん、本当にありがたうございます！

心は大切です。草木で言えば、根っこにあってたろう。でも、思っているだけでは何にもならない。行動し、表現することです。

今、テレビのコマーシャルで「思い」は、見えないけれど「思いやり」は見える。「こころ」は、見えないけれど「心遣い」は見えるというのが流れていますね。

草木が芽出し、葉を茂らせることによって花を咲かせ、実を結ぶように、人は「言の葉」

によって思いを伝え、人とつながり、自分を表現しながら夢を叶えていきます。

せつかく豊かな「言の葉」をもった日本に生まれたのです。どうか一人一人が、豊かな木になって欲しいと願っています。

第六十四回卒業式、厳粛盛大に挙

三月十八日に、第六十四

回卒業証書授与式が行われ、八十三名の卒業生が巣立っていきました。

在校生は、卒業式のために全員で練習をし、学校の

環境をきれいにし、「感謝の気持ちを形です」という目標で頑張ってくれました。

市長様や教育委員会からもお褒めの言葉をいただきました。特に五年生は、毎朝、体育館のシート敷きを頑張ってくれました。見えないところで、「縁の下の力持ち」として頑張ってくれました。きつと素晴らしい最上級生になってくれることでしょう。期待しています。

楽しい春休み！ルールを守って！

●生活・交通ルールを守る。

●外出時は、行き先と帰る時間を伝える。

●家庭学習は十時までしっかりする。

四月六日（水）に元気な子供たちと会うのを楽しみにしています。安心で安全な生活ができるように話し合ってみてください。



東北関東大震災のお見舞い

三月十一日に発生した東北関東大震災のためにボランティア委員会が募金活動をしてくれました。集まった義援金は佐賀善意銀行に届けました。

嬉野小学校の全ての子どもたちと先生方で集めたものです。たくさん義援金が集まりました。（二十五万三千九百四十六円）

テレビでは、毎日、被害の状況と福島第一原発の事故の報道がなされています。

時間が経ち、被害の大きさ、事故の悲惨さが伝わってきます。しかし、まだこの大災害の被害の全容がはつきりしていないようです。まさに千年に一度の大災害です。式辞の中でも卒業生に向かって話しました。

（卒業式の式辞より）「中略」私たちは、この厳しい国難とも言うべき事態を乗り越えていかなくはなりません。そのためには強い体力と優しい心を自分の中に育まなければなりません。まさに、みなさんの進学する中学校は、その意味に於いて、額に汗して体を鍛え、他人のために行動する心を育み、自らの目標を達成するために若き血をたぎらせる絶好の場所です。自ら進んで、その場所に身を置き、そこでの学びや体験を血として、肉として大きく成長していくことを期待してやみません。後略」

亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。